

社会背景・環境，今後の見通し及び重点課題について

- ・ 生活環境の分野において重視すべき社会背景や環境，今後の見通し等を検討するため，環境分析（「SWOT〔強み・弱み・機会（追い風）・脅威（向かい風）〕分析」）を実施した。
- ・ これを踏まえて，分野における重点課題を検討した。

1 脱温暖化・循環型の環境にやさしい社会づくりに関すること

〔環境分析1〕（主なもの）

- 環境問題への関心や環境保全活動への参加意識が高まっているなか，本市では，市民等に対する環境情報の提供や環境学習の場と機会の提供が十分でない。
- 環境に配慮した行動が強く求められているなか，本市では，市民，学校，事業者，市における環境マネジメントシステムの仕組みが整備されている。

【重点課題】

環境情報の提供，環境学習の推進，環境管理活動の推進などにより，環境保全行動の推進を図り，より多くの市民が環境保全行動に取り組むこと

〔環境分析2〕（主なもの）

- 市民等の地球環境への関心が高まっているなか，本市では，温室効果ガス排出量が増加傾向にある。

【重点課題】

省エネ・省資源の取組，新エネルギーの普及促進などにより，地球温暖化対策の推進を図り，温室効果ガスの排出抑制に関する取組を強化すること

〔環境分析3〕（主なもの）

- ごみの減量化・資源化に対する意識が高まっているなか，本市では，資源化が可能な品目（紙・布，びん・缶・ペットボトル）の分別が徹底されていない。
- 新たな分別収集への意識が高まっているなか，本市では資源化に対する取り組みがまだ不十分である。
- 市民協働のまちづくりの機運が高まっているなか，本市では，リサイクル推進員などによる意識啓発を推進している。

【 重点課題 】

意識啓発活動，ごみ分別の徹底・拡大などに取り組むことにより，ごみの発生抑制・減量化・資源化を図り，限りある資源を有効に活用すること

〔環境分析4〕（主なもの）

- ごみの減量化・資源化に対する市民の意識が高まっているなか，本市では，更なるごみ分別の徹底と適正なりサイクル体制の構築に必要な中間処理施設の整備が不十分である。
- 市民の環境意識の高まりにより，地域住民参加型の不法投棄監視態勢が広がりつつある。

【 重点課題 】

廃棄物の適正な処理の構築などにより市民・事業者・行政の各主体がそれぞれの役割・責任のもと環境負荷を最小限に抑えること

〔環境分析5〕（主なもの）

- 市民等の生活環境への関心が高まっているなか，環境関連法令等による規制強化が図られている。

【 重点課題 】

大気，水質等の監視や発生源対策の充実を図ることで，大気や水質等の汚染・汚濁を未然に防止し，良好な生活環境を確保すること

2 良好な水と緑の環境に関すること

〔環境分析1〕（主なもの）

- 市民等の河川環境への関心が高まるなか、本市では、従来型の治水対策に加え、環境と調和した川づくりを進めている。
- 市域には多くの河川が流れ、親水整備に適した場所は多いが、安全に水辺に近づくことの出来る親水空間が十分整備されていない。
- 河川愛護活動において、市民が積極的に河川の美化に取り組んでいる。

【重点課題】

周辺環境と調和した、安全で親しめる河川の整備などにより、快適な河川環境を創出すること

〔環境分析2〕（主なもの）

- 水を大切にしている意識が高まっているなか、本市では、排水処理施設などにおける処理水の再利用をしている。
- 水源地の保全が求められているなか、本市では、水源地周辺所有者の保全意識は高い状況にある。
- 将来的に河川水量や地下水位の低下が懸念されるなか、本市では、市内河川の上流域の水源涵養林や、市周辺の地下水涵養機能を持つ農地がある。

【重点課題】

水源地の森林保全や、地下水の涵養を推進することにより、良好な水資源を確保していくこと

〔環境分析3〕（主なもの）

- 市民等の自然環境の保全に関する関心が高まっているなか、本市では、市民協働による仕組みが確立できていない。

【重点課題】

自然環境の意識醸成や環境保全対策を推進することにより、豊かな自然環境を維持し、人と自然の共生を図ること

〔環境分析4〕（主なもの）

- 本市は自然環境が豊かでありながら、市民の緑化や保全に対する問題意識が低いことに加え、緑化・保全活動に関する情報も不十分であることなどから、市民主体の都市緑化及び保全活動が十分とはいえない状況にある。

【 重点課題 】

自然環境の保全に向けた取り組みや対策を行うことにより、豊かな自然環境を維持し、人と自然の共生を図ること

3 上下水道サービスの質に関すること

〔環境分析1〕（主なもの）

- 健康志向など、水質に対するニーズが高度化しているなか、ペットボトル産業などが台頭し「水道水離れ」を招いているため、本市においても、高品質な水道水の供給が求められている。
- 近年の大規模地震の発生などにより、危機管理意識が高まるなか、ライフラインとしての水道についても、災害や事故発生時の対応力を向上させ、常に安定的な給水を確保することが求められている。

【重点課題】

水道水の高品質化や安定給水の確保などにより、水道水の安心給水の推進を図り、市民が安心して水道水を利用できる供給体制を確立すること

〔環境分析2〕（主なもの）

- 生活環境の快適性や利便性ととも公共用水域の水質保全が求められるなか、大雨時に合流式下水道から未処理水が河川に放流されることなどから、さらに生活排水の適正処理が求められている。
- 都市化の進展や集中豪雨により、雨水の流出量が増大し、市街地においては浸水被害が発生しているため、なお一層浸水被害の解消が求められている。

【重点課題】

生活排水の適正処理や雨水対策などにより、下水の適正処理の推進を図り、快適な生活環境の確保と公共用水域の水質保全を図ること

〔環境分析3〕（主なもの）

- 環境保全意識が高まる中、上下水道事業は膨大なエネルギーを消費する一方、浄水・下水処理過程では豊富な資源が発生するため、上下水道施設・資源の有効活用による、環境負荷低減に向けた取り組みがさらに求められている。

【重点課題】

上下水道の施設・資源の有効活用により、環境保全の推進を図り、環境負荷の低減を図ること

〔環境分析4〕（主なもの）

- 顧客ニーズが多様化・高度化する中、さらに利用しやすいサービスの提供や、安定性や効率性の高い信頼される経営が求められている。

【重点課題】

顧客満足度の向上や経営基盤の強化などにより、顧客重視経営の推進を図り、顧客に信頼される経営を確立すること

4 快適な住環境の創出に関すること

〔環境分析1〕（主なもの）

- 中心市街地では、空洞化が進み、居住人口が減少しているため、さまざまな事業を行い、中心市街地での誘導強化や居住人口の回復を図っている。
- 欠陥住宅やリフォーム詐欺など、住宅をめぐる事件が多発しており、住居に対する市民の不安が生じている。

【重点課題】

住宅困窮者の支援やそれぞれの人生設計にかなった支援などにより、快適な住宅の供給や取得支援の充実を図り、誰もが快適な暮らしを確保できること

〔環境分析2〕（主なもの）

- 市内には、建築基準法改正（新耐震基準）以前に建築された住宅や木造老朽住宅の密集した地域が多数あるため、制度を設け、耐震改修を支援している。
- 市民の環境問題、地球温暖化に対する認知度・関心が高まってきており、環境に配慮した住宅を整備するための制度などを充実させている。

【重点課題】

耐震性や省エネ化の住宅整備の促進などにより、住宅の安全性・環境性の向上を図り、安全で環境にやさしい住宅を確保すること

〔環境分析3〕（主なもの）

- 区画整理事業の整備や再開発事業により、良好な住宅地の供給や市街地の整備が進められている。
- 市民からみた本市の街並みに対する意見では、「美しいと感じる」という割合が低く、街並みや景観の整備に対する市民の要望が高まっている。

【重点課題】

居住にかかる基盤の整備などにより、居住環境の向上が図られた、良好な生活の空間を形成すること